

# イエス!

自分にイエス!⇔自己肯定感

白岡市教育支援センター

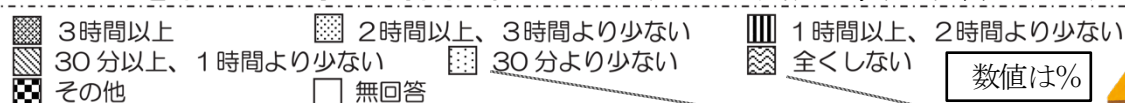
## 家庭学習のすゝめ



所長 蔦澤 透

先日、「家では勉強しない」というつぶやきを聞いてしまいました。これは看過できません。そこで、児童・生徒に[家庭学習の勧め]を説くため、この特別号を発行します。

まず、全国学力・学習状況調査の結果から家庭学習の状況を知りましょう。  
**質問:学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む) ※(この時間)を家庭学習とします**



### 小学6年生(令和5年度)



### 中学3年生(令和5年度)



上記のグラフから、小学生は1時間以上(6割弱)、中学生は2時間以上(3割)を目安としてよいでしょう(休日は+1時間)。あなたはどこの範囲に当てはまりますか。

「1時間未満」という人は心を入れ替えて、しっかりと家庭学習をしましょう。自分で解決できない内容はサポートしますので、遠慮なく支援員に声をかけてください。支援員は喜んで手伝います。



### 家庭学習を進めるポイントを以下に示します

①【家庭学習の大切さ】学校教育は教師が教育する(教える)ことをさしますが、児童・生徒の立場からすれば学習する(学ぶ)場ということです。つまり「教えられたことを理解するために学ぶ」場です。よって、学習とは「自分の力で学ぶ」ことと言えます。ですから、**家庭でも学習することが必要**なのです。

②【学習方法】「学習方法を思いつかない」という人は、教科書の丸写しをしましょう。読む・見る[インプット]⇔書く[アウトプット]の学習になり、とても効果的です。この学習では**教科ごとにノート**を用意します。



ていねいに書くと後で見直したときにうれしさを感じられます。色をつけて強調するなどの工夫で達成感を味わえます。自分の考えを書き込んだり気持ちを表すイラストを入れたりして楽しんでください。

さらに、**わからない点や質問を書き留め**ておくと、支援員とのやり取りに役立ちます。

**さあ、今から始めましょう!**